

表5 シーリング材の適材適所

目地の区分	構法・部位・構成材		シリコーン系 ^(※4)			変成シリコーン系		ポリサルファイド系		アクリルウレタン系	ポリウレタン系		アクリル系		
			2成分形低モジュラス ^(※5)	1成分形高・中モジュラス ^(※6)	1成分形低モジュラス ^(※5)	2成分形	1成分形	2成分形	1成分形	2成分形	1成分形	1成分形			
ワークインプレッション	カーテンウォール	ガラスマリオン方式	ガラス回り目地	○											
			方立無目ジョイント	○											
		Pca/パネル方式	石打ち込みPca タイル打ち込みPca 吹き付け塗装Pca	金属パネル方式	ガラス回り目地	○									
				パネル間目地	○ ^(※7)			○							
				Pcaパネル間目地				○		○					
	各種外装パネル	ALCパネル(スライド、ロックンク構法) ^(※1)	ALCパネル間目地・窓枠回り目地	塗装あり ^(※2)						○	○	○	○ ^(※8)		
				塗装なし					○	○					
		塗装アルミパネル(強制乾燥・焼付塗装)	パネル間目地	○ ^(※7)		○ ^(※7)									
		塗装鋼板、ほうろう鋼板パネル	パネル間目地・窓枠回り目地				○		○						
		GRC、押し成形セメント板	パネル間目地・窓枠回り目地	塗装あり ^(※2)						○	○				
	金属製建具	ガラス回り	ガラス回り目地		○	○									
			水切り、皿板目地	○ ^(※7)			○								
		建具回り	建具間目地				○								
		工場シール	シーリング材受け						○						
金属笠木		笠木間目地	○ ^(※7)			○									
笠木	石材笠木	笠木間目地				○		○							
	Pca笠木	笠木間目地				○		○							
	RC壁	構造スリット	構造スリットの目地 ^(※3)	塗装あり ^(※2)					○						
ワークインプレッション	コンクリート壁	RC壁、壁式Pca	打ち継ぎ目地、ひび割れ誘発目地、窓枠回り目地	塗装あり ^(※2)					○	○	○				
			塗装なし					○	○						
		石貼り(湿式)(石打ち込みPca、石目地を含む)	石目地					○ ^(※14)	○	○					
		窓枠回り目地					○	○	○						
		タイル貼り(タイル打ち込みPcaを含む)	タイル目地				○ ^(※11)	○	○	○					
	外装パネル	ALCパネル(ボルト止め構法) ^(※1)	ALCパネル間目地	塗装あり ^(※2)						○	○	○	○		
				塗装なし					○	○	○				
		窓枠回り目地	塗装あり ^(※2)							○	○	○			
			塗装なし							○	○	○			
			窓枠回り目地							○	○	○			
外壁以外の目地	屋根・屋上	シート防水等の端末処理						○	○			○			
		瓦の押さえ(台風被害の防止)		○				○							
		金属屋根の折り曲げ部のシール		○				○							
		浴室・浴槽(耐水性必要部)		○											
	水回り ^(※12)	キッチンキャビネット回り		○											
		洗面化粧台回り		○											
		プール		○											
		排水口回り・貫通パイプ回り(設備機器用スリーブ等含む)	塗装あり ^(※2)						○	○	○	○			
	設備	バルコニー等手摺りの支柱脚回り	塗装あり ^(※2)						○	○	○	○			
			塗装なし						○	○	○	○			
		避難ハッチ回り	塗装あり ^(※2)						○	○	○	○			
			塗装なし						○	○	○	○			
その他	ポリカーボネイト・アクリル板		○ ^(※13)												
	屋内石目地 ^(※7)		○					○ ^(※14)	○	○					

注) この表は一般的な目安であり、実際の適用にはシーリング材製造業者に問い合わせを行い、十分に確認することが必要である。また、表中で○印を付していないのもでも事前検討により適用可能なものもあり、『外壁接合部の水密設計および施工に関する技術指針・同解説』（発行：日本建築学会）などを参照されたい。(※1) 50%引張応力0.2N/mm²以下の材料を使用する。(※2) 塗装性の事前確認が必要。(※3) シーリング材に耐火性が求められる場合には耐火構造用シーリング材を使用する。(※4) SSG構法用の構造シーリング材は対象外。SSG構法に適用するシーリング材はJASS17(ガラス工事)に従う。(※5) 50%引張応力0.2N/mm²未満。(※6) 高モジュラス：50%引張応力0.4N/mm²以上。中モジュラス：50%引張応力0.2N/mm²以上0.4N/mm²未満。(※7) 汚染に注意。(※8) 経時で柔軟性が低下するものもあるので事前検討が必要。スライド構法の横目地、窓枠回り目地には適用できない。(※9) サイディング用の応力緩和形。(※10) サイディング用。(※11) 薄層部が残らないように注意する。(※12) 防かびタイプの使用が望ましい。(※13) 脱アルコール形とする。(※14) 低モジュラス以外の材料を使用する。